



基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

かわせみ

R5 年度
冬号
VOL.59

◆HCU(ハイケアユニット)のご紹介

◆特定行為研修指定研修機関に登録されました!!

◆糖尿病センターのご紹介

◆地域医療連携懇談会報告



新年のご挨拶

林 道廣 (はやし みちひろ)

病院長

平素より当院につきましては格別のご高配を賜りありがとうございます。

3年以上の長きにわたり猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症も、昨年5月に感染法上の5類に移行しました。当院では、2020年1月31日の疑似症患者の受入れから2023年11月7日現在、新型コロナウイルス陽性患者2,042名、疑似症患者約263名、合計約2,305名の入院治療を、また、外来では6,379名のコロナ陽性患者を治療してまいりました。皆様方におかれましては、当院のコロナ診療にご理解、ご協力を戴きましたことを深く感謝申し上げます。今年もコロナを含めた新興感染症から市民を守る“砦”となるとともに、元来、市民病院として当院に課せられた救急・小児・周産期医療、がん診療などの通常診療も両立すべく、一層の改善を重ねてまいります所存です。

あらためまして当院は、『心のかよう医療を行い、信頼される病院』を基本理念に、患者の皆様や地域との信頼関係を築きながら、安全かつ安心と満足の得られる質の高い医療を提供することが使命であると考えています。引き続き住民の皆様のご健康回復・増進、ならびに地域医療の発展に貢献してまいりますので、医療関係者の皆様方におかれましては、本年も変わらぬご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

HCU(ハイケアユニット)のご紹介



井上 仁
(いのうえ ひとし)
消化器外科主任部長

HCU(High Care Unit : 高度治療室)開設

この度、市立ひらかた病院では、令和5年8月よりHCU(High Care Unit : 高度治療室)4床を開設いたしました。HCUとは主に重症患者さんを治療・ケアする特別な病棟です。

内科・外科系問わず、呼吸、循環、代謝、その他の重篤な急性機能不全などにより一般病棟での管理が困難となった入院患者さん、救急外来を受診し緊急入院となり集中治療が必要な患者さん、手術後の患者さんが入室の対象となります。

主な対象症例

- 心筋梗塞や心不全などの循環器疾患
- 肺炎、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、呼吸不全などの呼吸器疾患
- 消化管出血、膵炎などの消化器疾患
- 脳症、重症てんかんなど重症脳神経系疾患
- 敗血症、ARDS(急性呼吸窮迫症候群)、DIC(播種性血管内凝固症候群)、心肺蘇生後
- 術後、カテーテル治療後の経過観察(長時間手術、出血を伴う手術、術後の呼吸状態・循環動態の不安定な方)

各科・各職種間の垣根を越えた話し合いで情報を確認・共有

▶ **HCUは主治医および専任医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師など多職種がチームとなり協力し、患者さんを早期に回復させ一般病棟への復帰を早めることを目的とします。**

▶ **HCUでは一般病棟に比べて複雑で看護度の高いケアを必要とするため、一人の患者さんに対する看護体制を一般病棟よりも手厚くしております。これにより、循環呼吸監視モニターによる24時間の監視、急変に対する迅速な対応や充実したケアが可能となりました。また特に重症な患者さんには、人工呼吸器・血液浄化装置・補助循環装置などの生命維持管理装置による治療を積極的**

に行い、早期リハビリや栄養管理も導入しております。合併症(心疾患、呼吸器疾患、糖尿病など)を持つ患者さんにも安心して手術を受けていただけたと思います。

▶ **HCUでは毎朝多職種がミーティングを行い、一人一人の患者さんの病態、治療内容、治療方針について話し合います。この各科・各職種間の垣根を越えた話し合いで情報を確認・共有することにより、多方面から患者さんを支える体制を整えています。**

チーム一丸となり患者さん、ご家族の方の心身に寄り添える医療を提供できるよう努力して参ります。

特定行為研修指定研修機関に登録されました!!

2023年8月に特定行為研修機関に登録され、10月より救急パッケージコースを実施しています。326時間のe-learningおよび院内医師を講師とした演習、55症例の実習を経て、実践的な理解力、思考力及び判断力を養います。安心して入院生活を過ごしていただけるよう、患者さんの状態に応じた適切な医療、看護を提供していきます。

2024年4月より新たなコース開設も予定しており、各専門分野の特定行為研修修了者を増やし、より安心、安全な医療が提供できるよう精力的に取り組んで参ります。

■ 特定行為/特定行為研修とは・・・

特定行為とはあらかじめ医師が定めた手順書に準じて、特定行為研修を受けた特定看護師が従来の役割を拡大し診療の補助を行うもの。特定行為研修は補助看法に位置付けられており、この特定行為を行う場合に必要の実践的能力や高度な専門的知識の向上を図るための研修。



特定行為研修 開講式

糖尿病センターのご紹介

当科は2022年4月より「市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科」として専門的な糖尿病治療に力を入れてきました。

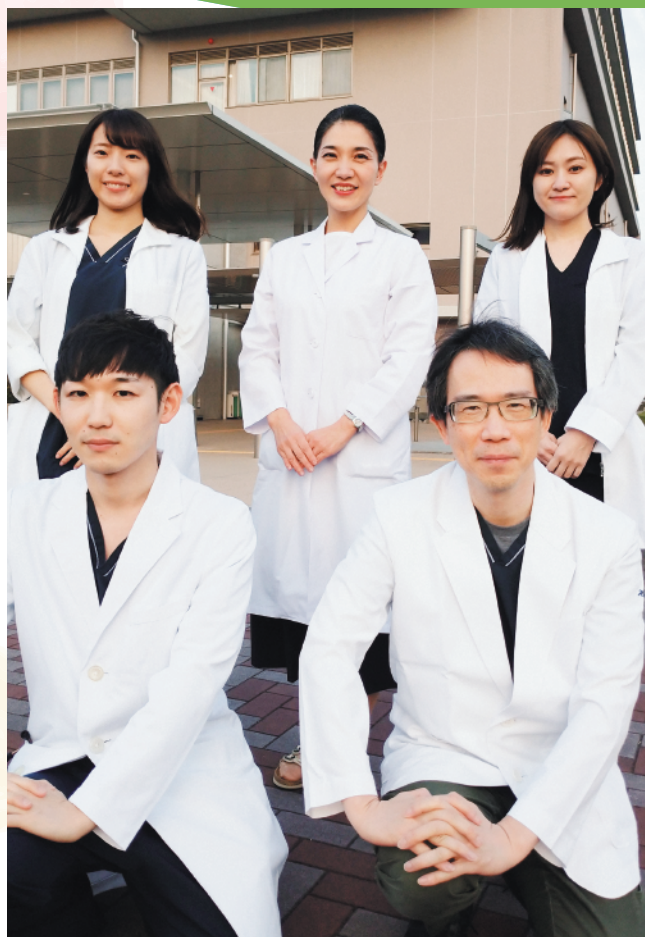
おかげさまで2022年度は、年間約1万人の外来患者の皆様、年間約800人の入院患者の皆様に当科をご利用頂きました。我々を信じて患者さんをご紹介下さいました北河内地域の先生方に心より御礼申し上げます。

我々の願いは、

- 1 当科の専門的・先進的糖尿病治療をより充実させること
- 2 他科・他職種と連携した糖尿病チームをより強固にすること
- 3 糖尿病教育認定施設としての役割を全うすること

の3つです。そのために2024年1月より糖尿病・内分泌内科の一部門として「市立ひらかた病院 糖尿病センター」を立ち上げます。北河内地域に“より良い糖尿病治療”を提供すべく、さらなる発展を遂げたいと思います。スタッフは全員20～40歳代で、働き盛り・伸び盛りの活気あふれるチームです。

皆様の温かいご支援に支えられて、スタッフ一同、精一杯頑張りますので、今後とも応援宜しくお願い致します。



地域医療連携懇談会報告 令和5年11月18日(土)に当院講堂にて地域医療連携懇談会が開催されました。

テーマ 「在宅医療におけるかかりつけ医と病院の連携」

第1部

講演

医療法人楽樹会 大越なごみの森診療所 大越 猛 医師

医療法人はじめ会 ゆうき内科 田中 祐貴 医師

大阪府訪問看護ステーション協会理事 岩出 るり子 看護師

市立ひらかた病院 呼吸器内科部長 坂東 園子 医師

総合司会 市立ひらかた病院 診療局長 中島 伯 医師



第2部

パネルディスカッション

「在宅医療」「かかりつけ医」「病診連携」をキーワードに意見交換

第1部では4名の講師から上記テーマに基づいてわかりやすくご講演をいただきました。第2部パネルディスカッションでは、「在宅医療の現状と課題」をテーマに意見交換がなされ、大変貴重な時間となりました。

参加数は98名(会場参加63名、オンライン35名)で、医療機関や訪問看護ステーション、ケアプランセンター、調剤薬局など、医療・介護と幅広い分野からご参加いただくことができました。

登録医療機関のご案内

当院と連携している先生をご紹介します

先生
教えてください！

磯谷内科

開業の経緯

大学から市立ひらかた病院に出向し12年にわたり勤務しました。その間、糖尿病・甲状腺疾患を中心に内科全般を診療し、糖尿病チーム医療、患者会活動も行いました。その後、再び大学に戻り後進の指導に従事しましたが、より身近に患者さんと向き合える糖尿病クリニックを開院したいと思うようになり2003年に開業しました。

患者さんへのアピールポイント

糖尿病・甲状腺疾患を専門として予約制で診療しています。糖尿病療養指導士と生活指導を行いながら、将来の健康を患者さんと共に考えています。甲状腺の病気についても診療しています。診療所が病院と違うところはその狭さであり、それが患者さんへの親切さに繋がる医院でありたいと考えています。

趣味

運動不足解消のため始めたゴルフです。



磯谷 治彦 先生



住 所 枚方市岡東町14-40
トムソーヤビル2F

電話番号 072-841-5528

診療科 内科

青島歯科クリニック

開業の経緯

私は幼稚園の頃から枚方に住んでいました。

歯科医師になったあと、大阪市内の歯科医院に勤務し、地域歯科医療に貢献したく、地元の枚方公園近くで2008年開業しました。

患者さんへのアピールポイント

当院は予防歯科に力を入れており、子供からお年寄りまで幅広い世代の方々にお越し頂いております。

お子様の治療では、ムシ歯予防だけではなく、歯列矯正や口腔機能向上のための指導を行うことにより、健康的な歯並び、正しい呼吸姿勢の獲得を目指しています。

大人の方には、定期的な口腔ケア、ブラッシング指導などを行い、なるべく御自身の歯で食事ができ、より健康的な生活を送って頂きたいと考えております。お気軽に御相談下さい。

趣味

ゴルフ、旅行



青島 健司 先生



住 所 枚方市伊加賀南町2-8

電話番号 072-861-0888

診療科 歯科